



秋田港外港地区
防波堤整備事業

物流と再生可能エネルギーを支える秋田港

現在 now



将来 future

【擾乱状況（岸壁（水深13m））】



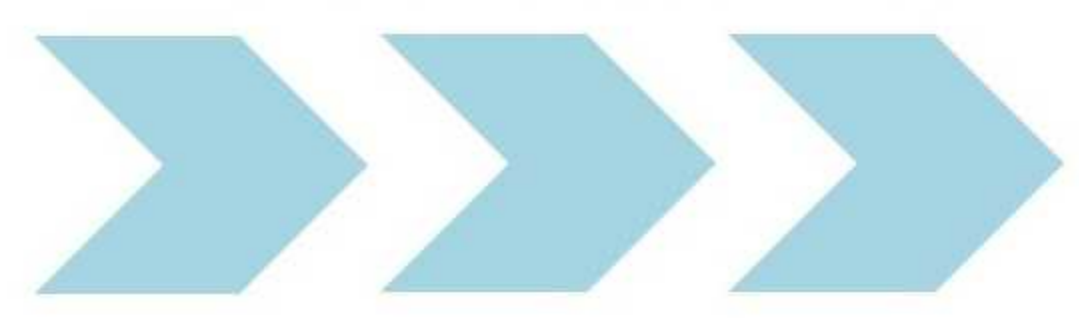
インフラ

【コンテナターミナル再編】



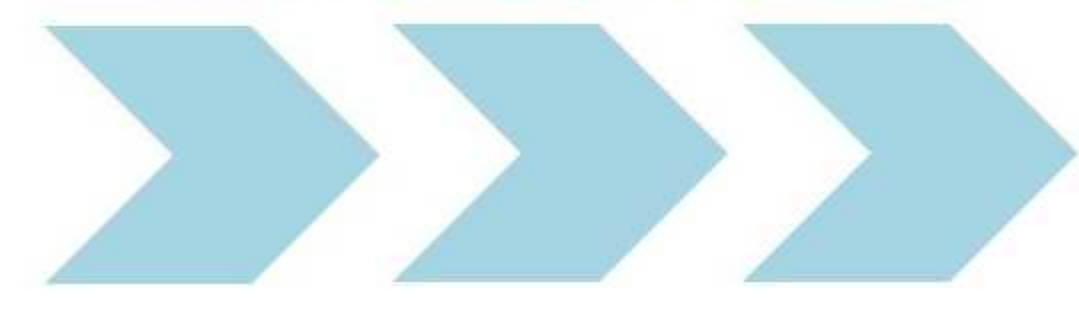
【防波堤の整備】

港内静穏度向上による
更なる物流の効率化



再生可能エネルギー供給の

更なる拠点化へ期待



【安定的な物流の実現】



【再生可能エネルギー供給拠点等の形成】



【風力発電施設の建設・運用の支援拠点】



平成35年度
防波堤完成
予定

東日本大震災を踏まえた災害に強い物流機能の構築を図るとともに、対岸諸国（中国・韓国・ロシア）の経済動向を見据え、地域経済の更なる発展を目指し、コンテナ機能を強化

- 平成24年4月 新コンテナターミナル完成（取扱能力70,000TEU）
- 平成27年1月 コンテナターミナル拡張（取扱能力100,000TEU）

平成26年12月、港湾計画一部変更により「再生可能エネルギー」を活用する区域が設定されたことから、今後港湾空間における「再生可能エネルギー」拠点の進展が見込まれるほか、洋上風力発電施設等の建設・運用の役割が港湾に期待される

